

Technical Note

フレームレート・ラインレート変更時の DSNU 補正

フレームレート・ラインレート変更時の DSNU 補正

カメラを使用する時、フレームレート・ラインレートを変更した後、DSNU 補正を再度行うことを推奨しています。一部のカメラは、このステップが必須になっております。

この文書では、DSNU 補正の手順を説明します。

1. 背景とコンセプト

近頃のカメらはハイスピード、高解像度化に進んでおります。各種アプリケーションに応じて、画質を保つためには、幾つかの補正処理が必要になります。

次のカメラを使用する時、DSNU の再度補正は下記アイテムを変更する時に必要となります：

表 1: DSNU の再度補正が必要な場合

モデル	変更アイテム
SP-12000 シリーズ	Frame Rate
WA-1000D シリーズ	Line Rate
SW-4000 シリーズ	Line Rate
SW-8000 シリーズ	Line Rate

2. DSNU 補正の手順

- a) カメラにレンズキャップを付けて、外光を遮断します。
- b) JAI SDK Control Tool を起動します。
- c) 使用するモード(frame rate, pixel format 等)にて撮像開始 (Start Acquisition) します。
- d) カメラを接続し、パラメータリストのカテゴリ「JAI Custom Control」中で、下記処理を実行します (図 1 をご参照ください)：
 - ・「Dsnu Correct mode」を「User」に設定します。
 - ・「Perform Dsnu Detect」のドロップダウンボタンをクリックします。
 - ・「Execute 'Perform Dsnu Detect' Command」ボタンをクリックします。
 - ・DSNU 補正が開始します。
- e) 補正完了後、画像上のノイズなどはなくなります。



Technical Note

フレームレート・ラインレート変更時の DSNU 補正

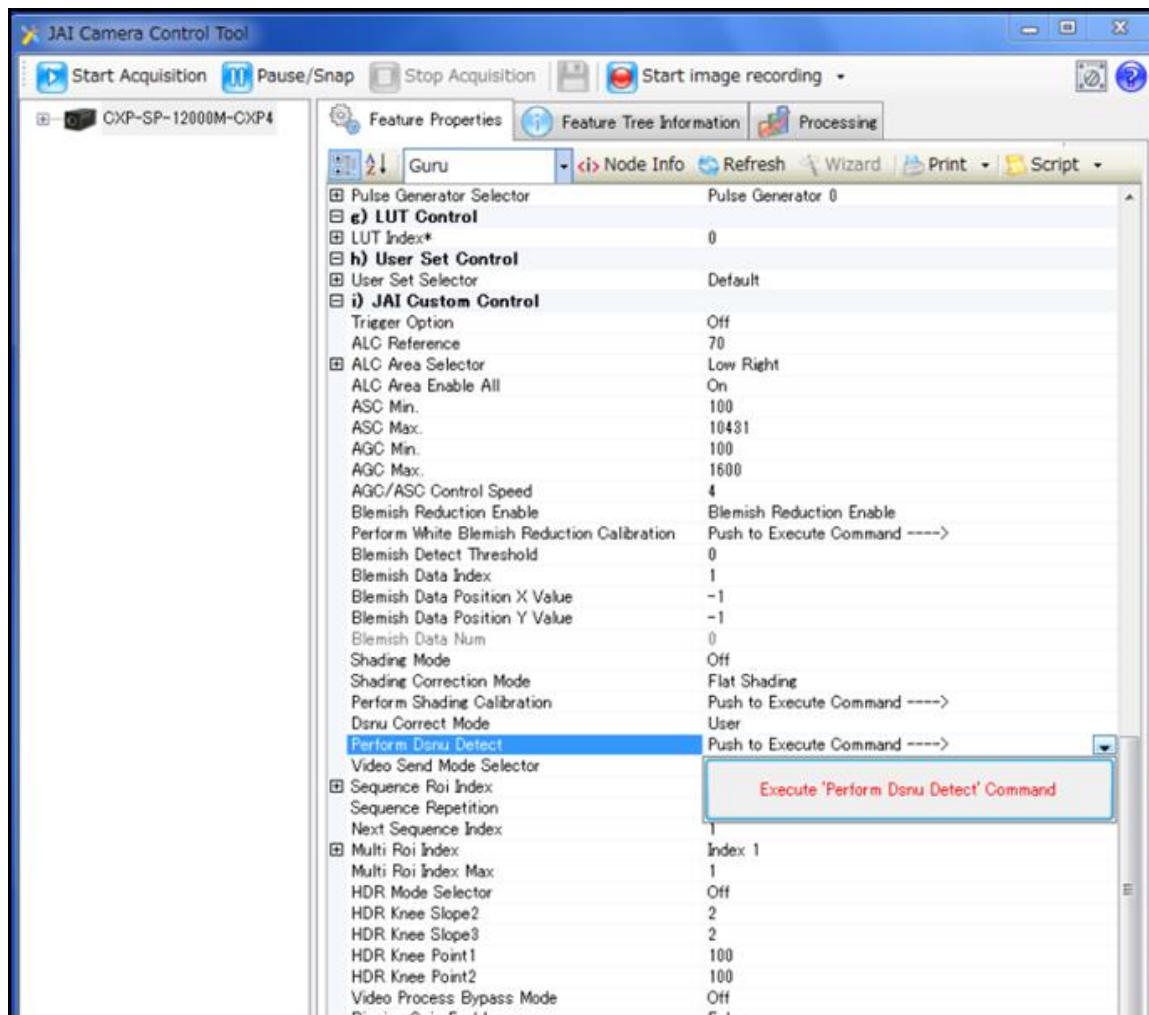


図 1: JAI SDK Control Tool で DSNU 補正を行う

以上

